

平成 25 年 1 月吉日

フォレックスセミナーの開催について

拝啓 時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、東京外国為替市場委員会と日本フォレックスクラブ共催のフォレックスセミナーを下記要領にて開催致します。今回のセミナーは、第一部「長期円高の構造転換」、第二部「安倍ノミクス」、海外マクロ、円需給を踏まえた為替相場予測」の講演を予定しております。

参加をご希望の方は、3月1日（金）までに、添付の記載要件につきメールに書き込みの上、下記アドレスまでお申し込み下さい。尚、会場の都合により定員になり次第締め切らせて頂きます。皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 日時 平成 25 年 3 月 11 日（月） 18：30～20:30（受付開始 18:00）

2. 場所 野村証券大会議室 千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット大手町ビル 20 階

3. 内容

－ 開会挨拶－ 18：30～18：35

－ 第一部 － 18：35～19：25

講演：高島 修 氏 シティバンク銀行株式会社 チーフ F X ストラテジスト
『長期円高の構造転換』

－ 休憩 － 19：25～19：35

－ 第二部 － 19：35～20：25

講演：池田 雄之輔 氏 野村証券金融市場調査部 マネージング・ダイレクター チーフ為替ストラテジスト
『「安倍ノミクス」、海外マクロ、円需給を踏まえた為替相場予測』

－ 閉会挨拶－ 20：25～20：30

4. 参加費 お一人 5,000 円（含む軽食） 事前口座振込とさせていただきます。

振込み口座：三菱東京 UFJ 銀行日本橋支店 普通 4191846
東京外国為替市場委員会

尚、締切日以降にキャンセルされた場合、参加費の返金は致しかねますのでご了承ください。また第一部もしくは、第二部だけの聴講はご遠慮下さい。

5. 本件照会先

トウキョウフォレックス上田ハーロー スポット FX 部 石川昌信（TEL 03-5200-2130）

トムソン・ロイター・マーケット トレジャー-事業部 宗川雄視（TEL 03-6441-1371）

6. 本件申込先

トウキョウフォレックス上田ハーロー株式会社 石川昌信 宛
（受付確認は電子メールにて行います。）

E-Mail ishikawa@tfuh.co.jp

TEL 03-5200-2130（原則 FAX での受付はしていません。ご了承下さい。）

（〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-4-10 東短室町ビル 8 階）

講師のご紹介

高島 修

シティバンク銀行株式会社

チーフFXストラテジスト

1992年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。同年三菱銀行(三菱東京UFJ銀行)に入社。1999年から為替資金部(現金融市場部)で欧州担当アナリスト、米国担当アナリスト、通貨オプションセールスを歴任。2004年以降チーフアナリストを務め、2010年3月にシティバンク銀行へ移籍。2005年以降6年連続でユーロマネー誌東京市場調査の相場予測ランキングで1位を獲得。2010年調査ではテクニカル分析でも1位。2011年、2012年は、日経ヴェリタス・アナリスト・ランキングの金利・為替アナリスト部門でそれぞれ2位、3位。2005年から2006年には財務省主催の外国為替研究委員会で委員を務める。日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト、日本テクニカルアナリスト協会検定会員、国際テクニカルアナリスト、日本金融学会会員。共著「為替相場の分析手法ープロが教えるマーケットの読み方」(東洋経済新報社、2012年)。

池田 雄之輔

野村證券株式会社 金融市場調査部

チーフ為替ストラテジスト

日本の為替リサーチを統括するチーフストラテジスト(東京、マネージング・ディレクター)。グローバル為替予想のコーディネーター役も務める。18年間、一貫して日本のマクロ・通貨を担当。最近の成果として、投資フローの包括的分析ツールである「野村円需給インデックス」を開発し、「紙飛行機理論」を展開する。日本の為替介入政策に関するリサーチも多数。5年間のロンドン駐在で築いた海外ヘッジファンドとのネットワークを活かし、データに現れない「次の動き」を読み取っている。

主要通貨マクロ、内外投資フロー調査およびグローバル為替予測を統括。海外投資家を多数担当し、グローバル・フロー動向に強い。テレビ東京モーニングサテライト等多数メディアに出演。1995年3月東京大学経済学部卒。2003年6月米ロチェスター大MBA。

フォレックスセミナー参加申込みに際しての記載要件

3月11日開催のフォレックスセミナーへの参加を希望します。

貴社／貴行名 ：

住 所 ：〒

所属部署 ：

参加者氏名 ：

参加代表者連絡先（TEL）：

今回、振込み控えをもって領収書にかえさせて頂きたく存じます。社内に必要な方はその旨ご記入下さい（「必要」とご記入下さい）。当日、受付時にお渡し致します。

領収書 ： 必要 ・ 不要

（“代表者”は参加者が複数名いらっしゃる場合です。お一人でご参加の場合はご本人の情報をご記入下さい。）

以 上